

八代妙見祭について

みょうけんさい 妙見祭とは

「妙見祭」とは、毎年秋に行われる市内妙見町(宮地)にある八代神社(旧妙見宮)の祭礼で、古い歴史を持つ八代地方最大の年中行事です。「八代妙見祭の神幸行事」として国の重要無形民俗文化財に指定されています。

この祭礼のクライマックスは、11月23日※に行われる神幸行列(お上り)で、前日のうちにお旅所である塩屋八幡宮ま

で遷座※していた神輿(神様がお乗りになっている)が、町々から供奉※される獅子や奴、笠鉾、亀蛇(ガメ)などに伴われて、妙見宮まで約6^きの道のりを還る、というものです。

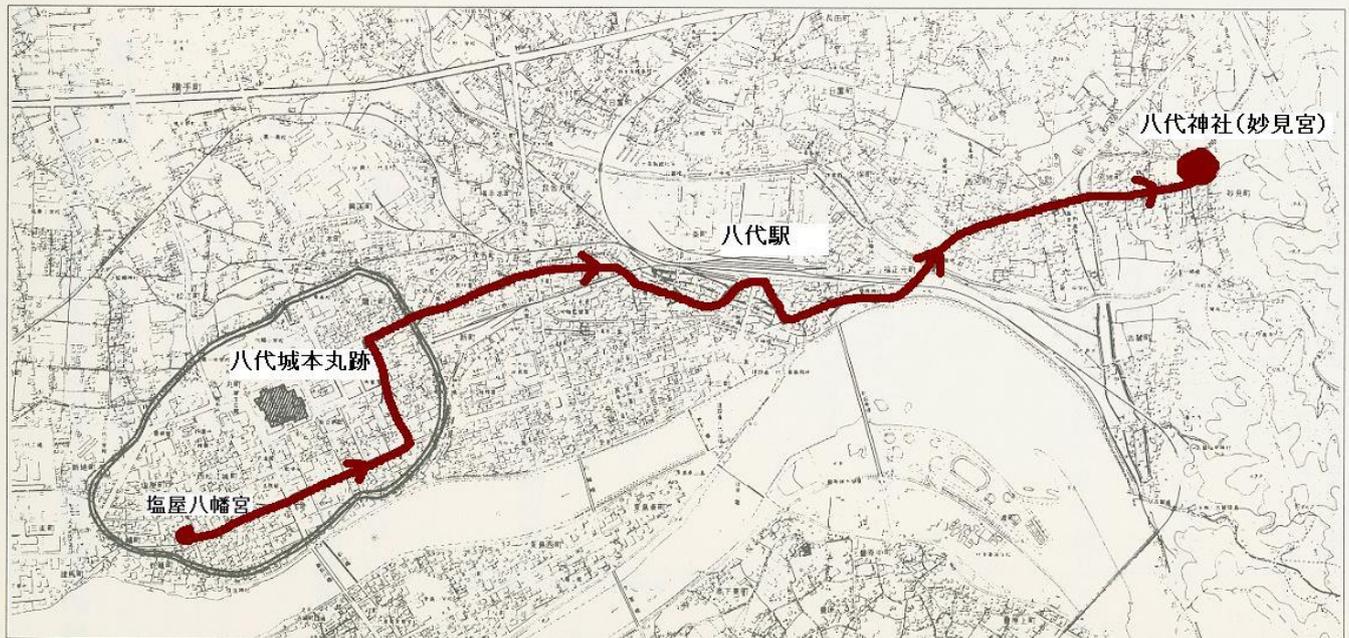


八代神社(妙見宮)

※古くは旧暦10月18日でしたが明治以降新暦の11月18日になり、平成5年より23日に変更されました。

※遷座(神様が場所を移ること) ※供奉(お仕え申し上げること)

みょうけんさい 妙見祭のコース



八代妙見祭「お上り」の道順(1996年現在)

→: 進行方向

=: 八代城下町の総構え(江戸時代)